

NIKKOR

NIKKOR Z 24-200mm f/4-6.3 VR

Jp 使用説明書

En User's Manual

Fr Manuel d'utilisation

Sc 使用说明书

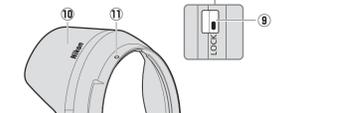
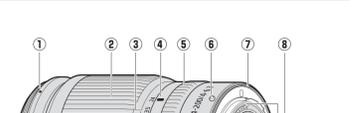
Es Manual del usuario

Kr 사용설명서

各部の名称と機能		
左図で示されている各部の名称と機能は以下の通りです。		
1 レンズフード	レンズ/レンズフードを取り付けるときの指ししくはです。	詳しくは➡
2 スーリング	このリングを回転させるとズームリングができます。	—
3 焦点距離目盛	ズームリング時の焦点距離の目安として使用します。	—
4 焦点距離目盛指標	オートフォーカス時このリングを回転させると、[フォーカス (M/A)] や [絞り] などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書をご覧ください。	—
5 コントロールリング	カスタムボタン(の機能)または[カスタムボタン]の機能(撮影)の説明をご覧ください。	—
6 レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。	詳しくは➡
7 レンズマウントゴムリング	—	—
8 CPU 情報接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。	—
9 ズームロックスイッチ	焦点距離を 24mm にして、ズームロックスイッチを LOCK にセットすると、ズームリングがロックされます。カメラを持ち歩く際は、レンズ自体の重みで取り出さないように、ロックしてください。	—
10 レンズフード	画面に悪影響を及ぼす光線をカットします。レンズの保護にも役立ちます。	—
11 レンズフードセット指標	レンズにレンズフードを取り付けるときの指標です。	詳しくは➡
12 レンズフード取り付指環	—	—
13 レンズキャップ (フロントキャップ)	—	—
14 レンズキャップ (リアキャップ)	—	—

Printed in Thailand 7MM34364-03

NIKON CORPORATION



Jp 使用説明書

ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの説明書をご覧ください。

- このレンズは、Eコマースマウントのミラーレスカメラ専用です。
- このレンズを Z 7、Z 6 または Z 5 でお使いの場合は、カメラのファームウェアを最新バージョンにアップデートしてください。ファームウェアが最新になっていない場合、レンズを正しく認識しないか、手ブレ補正機能など一部の機能が使用できないことがあります。最新のファームウェアは、ニコングダウンロードセンターからダウンロードできます。

安全上のご注意

あなたや他の人々の危害や財産への被害を未然に防止するため、ご使用前に「安全上の注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

この説明書を誤りになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

警告 死にまたは重傷を及ぼすおそれがある内容です。

注意 怪傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容です。

お守りいただく内容を、以下の図表で区分しています。

は、 してはいけません。
は、 実行しなければならぬ内容です。

警告

分解、修理または改造をしない

禁止 落下などによる破損や内部が露出したら、露出部に触らない

感電やけがの原因になります。

実行 熱くなる、音が出る、こげ臭いなどや異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す

放置すると、発火、やけどの原因になります。

禁止 水に浸さない

ぬれた手で触らない

感電や発火の原因になります。

禁止 引火、燃発のおそれのある場所で使わない

プロパンガス、ガソリン、可燃性スプレーなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所で使わない。燃発や発火の原因になります。

禁止 レンズを清潔な布や柔らかい布で拭かない

拭き傷やレンズの破損の原因になります。

禁止 幼物の手の届くところに置かない

故障やけがの原因になります。

禁止 小さな付属品を口で吸い込むと、身体に悪影響を及ぼします。飲み込んだら、すぐに医師の診断を受けてください。

禁止 高温環境や極低温環境では、画像がぼやけることや伝導の原因になります。

注意

禁止 レンズを太極や強い光線に長時間さらさない

紫外線、内部部品の破損や発火の原因になることがあります。逆光撮影では、太陽を撮影しやすくなります。レンズが熱くなるように加熱されたり、発火の原因になります。

禁止 夏場の屋内や直射日光の当たる所など高温場所に放置しない

故障や発火の原因になります。

禁止 三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない

故障やけがの原因になります。

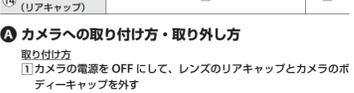
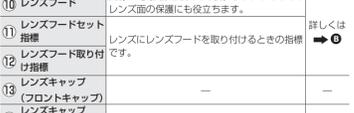
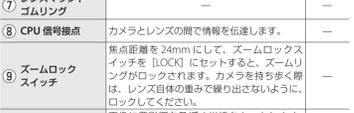
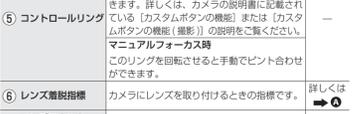
レンズの使い方

各部の名称と機能

左図で示されている各部の名称と機能は以下の通りです。

1 レンズフード	レンズ/レンズフードを取り付けるときの指ししくはです。	詳しくは➡
2 スーリング	このリングを回転させるとズームリングができます。	—
3 焦点距離目盛	ズームリング時の焦点距離の目安として使用します。	—
4 焦点距離目盛指標	オートフォーカス時このリングを回転させると、[フォーカス (M/A)] や [絞り] などカメラで設定した機能を使用できます。詳しくは、カメラの説明書をご覧ください。	—
5 コントロールリング	カスタムボタン(の機能)または[カスタムボタン]の機能(撮影)の説明をご覧ください。	—
6 レンズ着脱指標	カメラにレンズを取り付けるときの指標です。	詳しくは➡
7 レンズマウントゴムリング	—	—
8 CPU 情報接点	カメラとレンズの間で情報を伝達します。	—
9 ズームロックスイッチ	焦点距離を 24mm にして、ズームロックスイッチを LOCK にセットすると、ズームリングがロックされます。カメラを持ち歩く際は、レンズ自体の重みで取り出さないように、ロックしてください。	—
10 レンズフード	画面に悪影響を及ぼす光線をカットします。レンズの保護にも役立ちます。	—
11 レンズフードセット指標	レンズにレンズフードを取り付けるときの指標です。	詳しくは➡
12 レンズフード取り付指環	—	—
13 レンズキャップ (フロントキャップ)	—	—
14 レンズキャップ (リアキャップ)	—	—

Printed in Thailand 7MM34364-03



カメラへの取り付け方・取り外し方

取り付け方

1 カメラの電源を OFF にして、レンズのリアキャップとカメラのボディキャップを外す

2 カメラとレンズのレンズ着脱指標を合わせ、反時計回りにカチと音がするまでレンズを回す

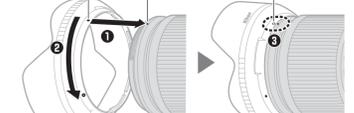
取り外し方

1 カメラの電源を OFF にする

2 レンズ取り外しボタンを押しながら、時計回りにレンズを回して取り外す

⑥ レンズフードの取り付け方・取り外し方

・レンズフード着脱指標とレンズフード取り付指環を合わせて **①**、レンズフードを矢印 **②** の方向に回転させ、レンズフード着脱指標とレンズフードセット指標を合わせてください **③**。



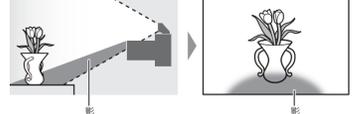
・レンズフード先端を強くつかむと着脱が困難になります。着脱の際は、レンズフードの取り付指環 **④** を活用して取り外してください。

・取り外しは、取り付けと逆の手順で行ってください。

・収納時はレンズフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

⑧ 内蔵フラッシュ搭載のカメラでフラッシュ撮影するときの注意

内蔵フラッシュ搭載のカメラの場合、フラッシュの光がレンズやレンズフードでさえざられると画像に影が写り込みます。レンズフードは取り外して撮影してください。レンズフードを取り外しても、レンズの焦点距離と撮影距離によっては影が写り込みます。



・下記のカメラでは、このレンズを装着して内蔵フラッシュを使ったときに、画面に影が写り込むことがあります。影が写り込みます撮影できる焦平面距離と撮影距離の通りです。
DX130は、DX130カメラのレンズ/カメラ専用アダプター、ズームレンズ/カメラ専用アダプター

カメラ ¹⁾	焦点距離	影が写り込まない撮影距離 ²⁾
	24mm	—
Z 50	35mm	1.5 m 以上
	50mm	1.0 m 以上
	70—200mm	朝夕なし

¹⁾ 最新情報はカメラの説明書をご覧ください

²⁾ レンズフードを取り付けずに撮影してください。

■手ブレ補正機能

このレンズには手ブレ補正機能があります。手ブレ補正機能はカメラで設定できます。詳しくは、カメラの説明書をご覧ください。

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 5.0 倍 (カメラの手ブレ補正機能を「[メニュー]」にしているとき) シャッタースピードを遅くして撮影できるため、シャッタースピードの選択範囲が広がります。

¹⁾ 最新情報は、Eコマースマウントのレンズ/カメラ専用アダプター、ズームレンズ/カメラ専用アダプター

手ブレ補正使用時のご注意

・手ブレ補正機能の構造上、レンズを擦るとカタカタ音を立てることがありますが、故障ではありません。

・三脚撮影時にカメラの手ブレ補正機能を「[メニュー]」または「[スポーツ]」に設定すると、三脚の音を軽減します。ただし、三脚の振動や撮影条件により、[しない]にした方がよい場合があります。

・一部を使用するときには、「[メニュー]」または「[スポーツ]」に設定するとをおすすめします。

■カメラにレンズを取り付けたときのご注意

ピントを合わせながら撮ると、カメラの電源を OFF にして再び ON にするとピント位置が変わることがあります。ピントを合わせるたびにピントを合わせておいて撮影するモードで撮影してください。ピントを合わせながらシャッターを押さるまでカメラの電源を OFF にしないでください。

■取り扱いは上のご注意

・レンズフードをレンズに装着した状態で、レンズフードだけを持たないでください。

・CPU 情報接点は汚さないようにご注意ください。

・レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはコンサービスセンターに修理依頼してください。

・レンズをカメラに装着していないときは、必ずレンズキャップを取り付けてください。

・レンズを保管するときは、レンズ内部を保護するために太陽光のあたらない所に保管してください。

・レンズを水にぬらしたり、濡気が多い場所に置かないでください。部品がサビづくなどして故障の原因になりますのでご注意ください。

・月の光など、極端に温度が高くなるような場所に置かないでください。外側に使用しただけでカメラやレンズを取り付けたまま移動しないでください。

・極端に湿度差のある場所に急にレンズを持ち込むと、レンズ内に水滴が生じ、故障の原因となります。レンズをバッグやビニール袋などに入れて、周囲の湿度にならせてからお使いください。

・レンズを傷から守るために、持ち運ぶときはレンズケースに入れることをおすすめします。

⑧ レンズのお手入れ

・レンズ面を清掃する場合、通常はほこりを払う程度にしてください。

・最新のレンズ面 (フッ素コートあり)

・指紋など油分を含む汚れがついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーでレンズの中心から外縁へ薄層状に拭いてください。汚れがひどいときは、少量の水を乾いた柔らかい布で優しく拭いてください。

・フッ素コート加工されたレンズ面は、撥水性、撥油性が高いため、水滴状の汚れ残りが生じることがあります。その場合は、乾いた布で拭き取ってください。

・最新のレンズ面 (フッ素コートなし)

・指紋など油分を含む汚れがついたときは、少量の無水アルコール (エタノール) や市販のクリーニングペーパーで濡らした柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーで優しく拭いてください。

・その場合、拭き残しや乾きが残らないように拭いてください。

・シナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。

・レンズ表面の汚れや曇りなどは、別売のニートラルカラー NC フォトリムーバーなどの使用をおすすめします。

・レンズを長期使用しないときは、カバーやジップロックに入れて、高温多湿のところに避けて風通しのよい場所に保管してください。また、直射日光のあたるところ、防虫剤のあるところも避けてください。

アクセラ—

■付属アクセラ—

・レンズキャップ LC-6/7 (フロントキャップ)

・レンズキャップ LF-N1 (リアキャップ)

・レンズフード H93

・レンズケース CL-C1

▼ レンズケースのお取り扱いについて

・レンズケースはレンズを傷から守ることを目的としており、落下や衝撃からレンズを保護する機能はありません。

・レンズケースは材質の特性上、雨や水などで濡れた場合や摩擦によって、色落ち、変色、変形、損傷などが起こります。

・ほこりほらまらかいたブラシで払い落とさないでください。

・表面に付着した汚れや水分は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。アルコール、ベンジン、シナーなどの溶剤は使わないでください。

・直射日光が当たる場所や、湿度、湿度の高い場所に放置しないでください。

・レンズ面や液晶画面などを強くクリーニングクロスしては使用できません。

・レンズを収納して持ち運ぶ際、レンズが乾かからないようご注意ください。

⑧ レンズケースの素材：ポリイミド

■使用できるアクセラ—

67mm ネジ込み型フィルター

▼ フィルターを使用する場合

・フィルター 1 枚で使ってください。

・フィルターは、レンズフードを取り外してから装着してください。また、円筒型フィルターの露光効果の調節も、レンズフードを取り外した状態で行ってください。

仕様

マウント ニコン Z マウント

焦点距離 24mm—200mm

最大口径比 1:4—6.3

レンズ構成 15 群 19 枚 (ED レンズ 2 枚、ED 非球面レンズ 1 枚、非球面レンズ 2 枚、アルネオコートあり)

対角 61°—72°20' (撮影時)
61°—72°20' (撮影時)
FX

焦点距離目盛 24、35、50、70、105、135、200mm

フォーカシング方式 IF (インターナルフォーカス) 方式

手ブレ補正 ポスコーロモーター (VCM) によるレンズシフト方式

最大撮影距離 24mm 時：撮影距離から 0.5m

焦点距離 35mm 時：撮影距離から 0.54m

焦点距離 50mm 時：撮影距離から 0.55m

焦点距離 70mm 時：撮影距離から 0.58m

焦点距離 105mm 時：撮影距離から 0.65m

焦点距離 135mm 時：撮影距離から 0.68m

焦点距離 200mm 時：撮影距離から 0.7m

最大撮影倍率 0.28 倍

絞り羽根枚数 7 枚 (円形絞り)

絞りの範囲 最大距離 24mm 時：f/4—22

最大距離 200mm 時：f/6.3—36

※カメラの露出値設定ステップ幅により、最小絞り値の表示が異なる場合があります。

アタッチメントサイズ 67mm (φ×0.75mm)

寸法 約 76.5mm (最大径) × 114mm (レンズマウント基準寸法)

質量 約 570g

※製品の外观・仕様・性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

サービスとサポート

■修理に関するお問い合わせ

株式会社ニコンイメージングサービスセンター

修理センターナビダイヤル

0570-02-8200

■インターネットでのお申込み

https://www.nikon-image.com/support/repair/

■お電話でのお申込み

ニコンショップアドバイザー専用フリーダイヤル

0120-02-8155

■サービスセンターでのお手続き

ニコンショップのサービスセンター窓口でお見積り・受付いたします。インターネットでの事前予約が必要となります。詳細については、上記のホームページをご覧ください。

ニコンショップアドバイザー ナビダイヤル

0570-02-8060

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコンお客様相談室の総合情報拠点です。

https://www.nikon-image.com/support/showroom/

ニコンカスタマーセンター ナビダイヤル

0570-02-8080

・お見積りなど詳細については、上記のホームページをご覧ください。

・ナビダイヤルをご利用いただける場合は、ニコンカスタマーサポートセンター(63)-072-0577におかけください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンで製品を安全に、安心してご利用いただくため「製品登録」へのご案内をお送りしております。ご登録いただいた製品に関するアラームアラート機能や最新のお知らせなどをメールでご案内いたします。

ニコンイメージング会員ののご案内

https://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

En User's Manual

Before using this product, please read these instructions carefully. You will also need to consult the camera manual.

This lens is intended exclusively for use with mirrorless cameras featuring a Nikon Z mount.

Update to the latest version of the camera firmware before using this lens with the Z 7, Z 6, or Z 50, as otherwise the camera may fail to correctly recognize the lens and features such as vibration reduction may be unavailable. The latest firmware is available from the Nikon Download Center.

For Your Safety

To prevent damage to property or injury to yourself or to others, read "For Your Safety" in its entirety before using this product.

Keep these safety instructions where all those who use this product will read them.

▲ WARNING: Failure to observe the precautions marked with this icon could result in death or severe injury.

▲ CAUTION: Failure to observe the precautions marked with this icon could result in injury or property damage.

▲ WARNING

Do not disassemble or modify this product.

Do not touch internal parts that become exposed as the result of a fall or other accident.

Failure to observe these precautions could result in electric shock or other injury.

Should you notice any abnormalities such as the product producing smoke, heat, or unusual odors, immediately disconnect the camera power source.

Continued operation could result in fire, burns or other injury.

Keep dry.

Do not handle with wet hands.

Failure to observe these precautions could result in fire or electric shock.

Do not use this product in the presence of flammable dust or gas such as propane, gasoline or aerosols.

Failure to observe this precaution could result in explosion or fire.

Do not directly view the sun or other bright light source through the lens.

Failure to observe this precaution could result in visual impairment.

Keep this product out of reach of children.

